有信（ゆうしん）

第164号
2023春～夏
2023年（令和5年）

福岡大学同窓会報
（編集･広報委員会）

発行所
郵便番号 814-0180　福岡市城南区七隈 8-19-1
一般社団法人 福岡大学同窓会有信会
電話（092）871-6631　FAX（092）863-3668
E-mail yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp
印刷所
福岡市西区周船寺 3-28-1　正光印刷（株）

2面　4年ぶりに会員大会
3面　支部長会　代議員総会　退任理事・支部長
4面　会員大会講演会で朔学長が講演
有信八日会が再開　在学生との懇談会
5面　お疲れ様でした――石村理事長
6面　ホームカミングデー　有信奨学金授与式
7面　学部同窓会開催報告
8～9面　七隈トピックス
10面　支部ヒストリー「佐藤広島支部長」
11面　支部だより（東海支部50年　浮羽支部25年）
12～13面　地域支部報告
14～15面　令和4年度 事業報告・収支計算書・財務諸表
16面　地下鉄七隈線が延伸
国立和歌山大学学長に本山さん
お知らせ　お悔やみ

令和5年度会員大会開催

新理事長に川畑名誉理事長

有信八日会が再開

東海支部50年、浮羽支部25年、支部ヒストリー

有信会のホームページ　有信会　検索

有信会への問い合わせは
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学（母校）の情報は
https://www.fukuoka-u.ac.jp/

会員大会　2023

4年ぶりに会員大会を開催

新理事長に川畑名誉理事長

石村國芳理事長

一般社団法人福岡大学同窓会有信会（石村國芳理事長）の令和5年度会員大会は6月24日、福岡市のホテルニューオータニ博多で開かれた。新型コロナウイルス感染拡大で2019年の会員大会を最後に中止が続き、4年ぶりの開催となった。

コロナ感染が完全に終息していない状況を踏まえ、例年とは一部内容を変更して実施された。まず、講演会が午後1時からあり、母校の朔啓二郎学長が講演。続いて支部長会、代議員総会が行われ、懇親の部を開催した。懇親の部は、支部長・代議員に参加を限定した形の「親睦会」として行われ、久しぶりの対面での会員大会に参加者たちの笑顔があふれていた。

あいさつする川畑懿子新理事長

石村理事長は退任　副理事長に百田、瀬尾、野田の三氏

役員改選では、今年度で退任する石村理事長の後任に、川畑懿子名誉理事長が就任。6年ぶりの再登板となる。川畑新理事長は「このたび石村理事長の後を受け6年ぶりに理事長に就任します。大学を取り巻く環境も大変厳しい状況が予想されます。この難局を会員の皆様と乗り越えて行く所存です、どうぞよろしくお願いします」とあいさつした。また、副理事長には理事長推薦により、百田篤（商42）、瀬尾隆（薬48）、野田武史（商50）の三氏が決まった。

令和5年6月～令和7年6月
有信会役員

役職名	氏　名	卒部　年
理事長	川畑　懿子	商34
副理事長	百田　　篤	商42
副理事長	瀬尾　　隆	薬48
副理事長	野田　武史	商50
理　事	石川　直茂	商39
理　事	篠原　　統	経済40
理　事	鬼木　　彬	商二44
理　事	石橋　康治	商46
理　事	八尋　　茂	経済47
理　事	井上　文博	法48
理　事	水原　博而	体育48
理　事	山下　哲雄	人文49
理　事	村上　　繁	理49
理　事	松原　秀樹	法50
理　事	杉岡　敏雄	工51
理　事	内田　祐子	商54
理　事	竹下　盛重	医55
理　事	小島　隆志	商57
理　事	古賀　　亨	工59
理　事	長濱　和久	経済63
監　事	山口　秀朗	商53
監　事	隈　扶三郎	法62

久しぶりに対面での親睦会

～応援団演武やマジックショーも～

今回はコロナ後の影響を考慮し、立食から着席に変更、参加者は支部長、代議員に限定した「親睦会形式」で行われ、185人が参加した。瀬尾副理事長の乾杯発声で祝宴に入り、久しぶりに集った支部長、代議員らは、地域、世代を越え各テーブル毎に交流、談笑していた。

瀬尾副理事長の乾杯発声

アトラクションでは、母校応援指導部応援団が応援歌、七隈トンビをはじめとした演武を披露。また、卒業生の廣庭孝次さん（商61）によるマジックショーがあり、奇想天外なマジックの数々に会場も大きな拍手と歓声に沸いた。廣庭さんは母校卒業後、世界的メジャーマジシャン「Mrヒーロー」として活躍。30年前にベンチャー企業として「魔法マジック」を立ち上げ、全国でマジックパフォーマンスを実施している。

会場を沸かせた廣庭さんのマジックショー

会員大会 2023

支部長会

新任支部長が近況、活動を報告

支部長会は、62の地域支部、36の職域支部の代表が参加して行われた。支部長会参加の10人の新支部長が、自己紹介、支部の近況・活動状況、所感を述べた。

新支部長からは、コロナ禍で支部総会や活動が制限される中、運営への悩み、課題について報告があった。センコー支部の鎌田紗季支部長は、「社内の有信会員に呼びかけ、今年は総会を開催したい」と抱負を語った。各支部長らは新支部長の具体的な意見や報告に熱心に聞き入っていた。

報告をした新任支部長（敬称略）＝東京支部・松下和徳（商58）、徳島県支部・錦野伸策（法49）、飯塚支部・本松茂輝（薬45）、糟屋支部・母里渉（経済46）、大野城支部・嶋野正則（商53）、大牟田支部・相川浩一（商56）、諫早支部・藤山正昭（法46）、福岡銀行支部・吉田好輝（経済H7）、センコー支部・鎌田紗季（経済H28）、JAくるめ支部・大石祐治（経済H7）の10人。

報告を聞く各支部長

報告するセンコー支部の鎌田支部長

代議員総会

事業報告、決算を拍手で承認 各学部から代議員215人が参加

支部長会に続き、有信会の最高議決機関である「令和5年度定時代議員総会」が開かれ、各学部から選ばれた代議員総数395人中、出席215人、委任状132人の合計347人で総会は成立し、議案を審議した。

石村理事長のあいさつの後、小島理事が司会を務め、百田理事を議長に選出し議事に入った。令和4年度の事業報告、決算承認の議案について報告があり、各代議員が拍手で可決、承認された。また、理事・監事の選任についても拍手で可決、承認された。

各学部の代議員による代議員総会

拍手で議案承認する代議員

退任理事・支部長

退任理事・支部長に感謝盾 有信会本部、地域支部活動に貢献

会員大会をもって、理事（5人）、地域支部長（5人・故人1人）が退任。親睦会の席上で石村理事長から感謝盾（状）を贈り、今までの活動を労った。石村理事長は「ご苦労様でした」との言葉を送り、退任者たちは、有信会活動を支え、責務を終えて晴れやかな表情だった。

退任者は次のとおり（敬称略）。理事長＝石村國芳（商45）、理事＝吉田茂視（経済41）、髙木忠博（医53）、辻勝也（工56）、森淳（工H11）、支部長＝周南支部　続木石爝（工45）、大牟田支部　山田卓幸（商46）、直鞍支部　楠田一介（工51）、糟屋支部　南里正秀（工53）、大川支部　阿津坂芳徳＝故人

感謝盾を受ける髙木理事

各支部長にも感謝盾

有信八日会

会員大会講演会 朔学長が講演

「躍進する福岡大学」をアピール

有信会の社会貢献事業でもある会員大会講演会は、母校の朔啓二郎学長が「躍進する福岡大学」をテーマに母校の施策などについて講演した。

朔学長は現在進めているさまざまなプロジェクトについて、「コロナを経験し、時代は大きく変わった。福大も大きく変わります」と話し、新福大病院をはじめとしたキャンパス整備の状況や、朔学長が掲げるスローガン「5S」について解説。参加した卒業生は、進化する母校の状況に熱心に聞き入っていた。

講演会は会員大会中止に伴い4年ぶりの開催。例年は一般市民に無料公開しており、毎回、有信会で人気の高い事業となっているが、コロナ禍を考慮し有信会会員限定で開催された。

講演する朔学長

有信八日会が再開

～2020年2月以来 対面で実施

「元気でしたか」――懐かしい声と笑顔が久しぶりに対面で開催された4月例会会場にあふれた。

新型コロナ感染拡大で2020年2月開催を最後に、以降の有信八日会はすべて中止され、今回が4年ぶりの例会開催となった。久しぶりの開催となり、待ちわびた会員84人が参加。コロナ以前の活気が戻った。卓話講師には法学部の山下恭弘法学部長を迎え、核兵器に関する国際状況と日本の対応について話があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

今年度の有信八日会は通常の日程による開催を予定しており、8月に大交流会、12月に忘年会が行われる。詳しくは有信会ホームページでご確認ください。

久しぶりに行われた有信八日会

在学生との懇談会

「世界に通用する人材に」――西部技研 隈 社長（法62）が講演

令和5年度の「在学生との懇談会」が5月10日、福岡市のホテル日航福岡であり、母校から朔学長をはじめ各学部長、クラブ活動関係者、現役学生（学生執行部、学術文化、体育部会、学部長推薦者）が招待された。有信会からは石村理事長をはじめとした役員、招待された福岡市近隣で活躍している企業経営者OBらが、現役生との交流を深めた。

卓話では株式会社西部技研社長の隈扶三郎（法62）氏が「せっかく働くなら、グローバル人材をめざそう」をテーマに、会社創設時の苦労や、事業拡大に伴うグローバル戦略について解説。「現状維持で挑戦しない、グローバル化を意識しない会社は成長がない。世界に通用する人材になろう」と呼びかけた。

会場では、現役学生たちが、学生生活やクラブ活動の話、進路や就職について、先輩に相談する光景が見られ、先輩を取り巻き現役学生たちの輪ができていた。参加した映画研究部の深田真央さん（商3年）は「銀行への就職を希望しています。多くの先輩の話しが聞け、とても有意義でした」と話していた。

西部技研の隈社長が講演

講演を熱心に聴く現役生

在学生との懇談会

石村理事長退任

お疲れ様でした――石村理事長

コロナ禍での在任中、同窓会運営に尽力

令和3年6月の理事会で、同窓会有信会理事長を拝命しましたが、まだ「コロナ禍」で有信会の事業を再開できず、本年5月にコロナが「二類」から「五類」になり、支部総会を始め、有信会事業が始まりました。いつも支部総会・懇親会では、熱い七隈パワーに元気を頂きました。そのような中、令和5年6月24日に行われました「会員大会」で理事長を退任させて頂くことになりました。有信会の目的である「母校福岡大学の支援や学生への助成を行い、会員相互の親睦を図る」という事を果さないまま、理事長在任2年で退くことは、大変申し訳なく思っています。

福岡大学同窓会有信会前理事長
石村國芳

会員の方も大学生活で、部活動や寮生活が、思い出深いと思います。私も、昭和41（1966）年、商学部商学科に入学しました。入部したのが「会計学研究部」でした。新入部員が250人、新入部員歓迎式で、先輩が挨拶されたのが「福大に入学できて喜んでいるが、まだまだ社会は福大を一流とは認めていないぞ」。認めて貰いたいなら、「徹底的に会計学研究に没頭し学びなさい」と。当時の流行語は「モーレツ社員」「情熱亡き者は去れ」でした。この4年間で多くのことを学ぶことができました。昭和45（1970）年に卒業し、4月から福岡県立学校の教壇に立ち、学校現場35年、教育行政10年、現在は教員養成大学の「福岡教育大学」に籍を置いてます。

多くの有信会の方々は各地域支部・職域支部・各界各層でご活躍され、それが有信会の大きな「財産」だと思っています。川畑理事長には的確なご指導、ご示唆を頂き、多くの有信会の方々に、支えて頂いた2年間でした。いつも裏方で支えて頂いた事務局のスタッフには心から感謝しています。10年後には母校福岡大学も創立100年を迎えます。大学と同窓会がまさに「車の両輪」として力を合わせ、「文武両道」の母校が、今以上に魅力ある大学へ一歩一歩駆け上がってほしものです。

退任に当たり、多くの方々から「声」を頂き感謝しています。恩師である福岡大学附属大濠高等学校、初代校長井口末吉先生が、「日本には素晴らしいことわざがある」と、最後にくださった「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の心を大切に頑張りたいと思います。有信会での監事・理事・理事長8年間の経験を、何らかの形で有信会に恩返しができればと思っています。今後有信会が「チーム有信」として、会員相互の絆が深まる事を願っています。改めて全ての会員の方々に、心より、感謝申し上げます。

退任で感謝盾を授与

各地域支部にも参加

烏帽子会で小玉会長と

商学部同窓会で役員と

ホームカミングデー

ホームカミングデー

11月3日に開催決定

母校と有信会の共催による「ホームカミングデー（卒業生の集い）」は、入学式、卒業式に次ぐ三大式典で、卒業生、教職員・学生が一同に集い、講演会や学生による演奏会など多彩な催しが行われ、母校への絆を深めている。

創立記念日（5月21日）の実施から、学園祭開催時の11月に行われているが、コロナ禍での感染拡大防止を考慮し2020年から中止となっていた。今年度は11月3日での再開が決まった。（実施の詳細については適宜母校ホームページで確認ください）

第86回 有信チャリティーゴルフ大会

10月6日 4年ぶりの開催

例年300人が参加するチャリティーゴルフ大会も2020年から中止が続いていたが、令和5年10月6日に開催が決まった。久しぶりに秋晴れの空の下、仲間とゴルフを楽しんではどうだろう。毎回チャリティーホールが設けられ、募金は社会福祉法人穂波学園へ寄贈の予定。

開催日：令和5年10月6日（金）
会　場：小郡カンツリー倶楽部
（福岡県小郡市）
参加申込は有信会事務局まで。
TEL：092-871-6631（内線2295）
FAX：092-863-3668

毎年300人の参加者があるチャリティーゴルフ

再開が待たれるホームカミングデー

令和５年度は３人に有信奨学金を授与
福岡大学有信会奨学基金奨学生採用式

令和５年度の有信会奨学基金の奨学生採用式が６月20日、母校60周年記念館（ヘリオスプラザ）６階ギャラリーであり、母校から朔学長、栫井学生部長、有信会から石村理事長、川畑名誉理事長が出席した。

今年度は、富松凌大さん（法学部４年）、補伽太朗さん（経済学部４年）、植木柚葉さん（スポーツ科学部４年）の３名が採用され、朔学長から奨学生証が授与された。

この奨学金は、有信会が一般社団法人移行の際に贈った「特定寄付」をもとに母校が創設。最終学年次対象に、学生の支援を目的に1人50万円無利子貸与する。採用された奨学生は卒業後（10年間）返済義務がある。

今年度は3人に奨学金

有信会

有信会ホームページが、全面リニューアル

より見やすく、わかりやすく
スマートフォンにも対応

リニューアルしたホームページはスマートフォンにも対応し、「わかりやすさ」で有信会の活動をお届けする。有信会の活動や支部情報をはじめスポーツなど現役生たちの活躍も母校ホームページと相互リンクする。具体的には①広報有信のデジタルブック化②地域支部、職域支部、有信八日会の情報③学部同窓会の情報④同窓生協賛企業の情報⑤母校HPとの連携で大学情報、募金、オリジナルグッズ販売の紹介など。

学部同窓会

経済学部同窓会が総会を開催

～ホームページを拡充し同窓会員の拡大を図る～

経済学部同窓会（篠原統会長）の令和5年第15回総会が5月27日、福岡市の福岡東映ホテルであり、来賓、同窓会員60人が参加した。2019年の第13回総会から、コロナ禍のため第14回が書面決議による総会となり、対面での開催は4年ぶり。

総会では、17期、18期の監査報告、決算報告が承認され、続いて母校の渡邉淳一経済学部長の記念講演があり、地下鉄七隈線の延伸で考えられる効果を経済学的に分析、解説した。続いて懇親の部は、来賓の有信会川畑名誉理事長の乾杯で祝宴に入った。懇親会では久しぶりの対面での総会開催に世代を越え談笑、「福大経済OBOG」の絆を新たにした。

経済学部同窓会総会は隔年での開催のため、次回は令和7（2025）年に開催の予定。経済学部同窓会では、ホームページの拡充、ビジネス交流や在学生の就職支援などの活動も計画しながら、2年後の総会に向け準備を進めていく。

4年ぶりに開催された総会

医学部同窓会烏帽子会を開催

医学部同窓会烏帽子会（小玉正太会長）の総会が7月1日、福岡市のソラリア西鉄ホテルであり、有信会から川畑懿子理事長、会員95人が参加した。

昨年までの2年間は、新型コロナ感染症予防のためWEB併用の総会を開催。懇親会は行わなかったが、今年度は対面で総会を開催し、懇親会を再開させた。

烏帽子会では新たな取り組みとして、懇親会の席上で行っていた研究奨励賞の表彰、FU－OMSAの表彰、烏帽子賞の表彰を、厳粛な催しとして、総会会場で執り行った。また懇親会についても立食でなく着座にし、食事を取りながら、当番回の講演を傾聴し、歓談した。

烏帽子会で挨拶する川畑理事長

平成世代も多数参加

博多一本締めを披露する髙田顧問

大濠高校同窓会が70周年記念誌を発刊

附属大濠高校の70回記念大同窓会が5月20日、福岡市のグランドハイアット福岡で500人が参加し盛大に催された。有信会から石村理事長、川畑名誉理事長が出席し、70年の節目を祝った。また今回、大濠同窓生の活躍を振り返る『大濠人の70年』と題した記念誌を発刊した。

コロナ禍での制限から「5類」への変更を受け、久しぶりに仲間と肩を組んで校歌を斉唱。最後に記念撮影を行い大同窓会は終了した。次回当番回旗の引渡しが行われ、来年の大同窓会成功を担う意気込みが感じられた。

発刊された記念誌「大濠人の70年」

次回当番幹事へ引き継がれた

【令和5年度 学部・学科同窓会開催予定】

学部（学科）同窓会	開催予定日	開催場所
工学部（土木・社デ）福陽会	令和5年9月23日（土）17：00～	ソラリア西鉄ホテル
商学部第二部同窓会	令和5年10月上～下旬	
法学部同窓会	令和5年11月3日（金）16：30～	福岡大学文系センター
工学部（機械）福機会	令和5年11月3日（金）	

七隈トピックス　NANAKUMA TOPICS

令和4年度卒業式

4000人が学舎を巣立つ　卒業後は新有信会員に

令和4年度の卒業式は3月19日、母校第二記念会堂で行われ、学部卒業生4064人、大学院170人が学舎を巣立った。卒業後は新たな有信会の会員となる。

式典序曲演奏に始まり、朔学長が各学部と大学院の卒業生代表に学位記を授与した。学長表彰には、課外教育活動で優秀な成績を収め、本学の名声を高めることに著しく貢献したとして、なぎなた部の山崎莉奈さん（スポーツ科学部）と書道部の三上意織さん（人文学部）が受彰した。

朔学長は「これから皆さんを取り巻く社会の環境は、大変厳しい。そのような社会の中で、先頭に立って進んでいってくれることを期待しています」との言葉を贈った。校歌清聴のあと、色彩テープ（キャノン砲）の打ち上げで、これからの社会への門出を祝った。

令和4年度　卒業式

新たに有信会に仲間入り

令和5年度入学式

希望を胸に新入生4800人　壮観な入学式を挙行

令和5年度の入学式は4月1日、春の穏やかな陽気の中、母校第二記念会堂で行われ、学部4、535人、大学院24人、法科大学院261人が喜びの日を迎えた。

今年度、保護者・家族は2人まで式典へ参加が認められ、第二記念会堂を埋め尽くす、久しぶりに福大らしい壮観な入学式が挙行された。朔学長は式辞で、「本学は、ワンキャンパスに文系・理系合わせて9つの学部と10の大学院研究科が集結しており、多様性に満ちています。その環境を十分に生かして、これから始まる大学生活を志高く、福大生の誇りを胸に、頑張ってください」とエールを送った。校歌清聴の後には新入生を歓迎する色彩テープ（キャノン砲）が打ち上げられ、新入生たちは福大生としての気持ちを新たにしていた。

令和5年度　入学式

新入生を祝う色彩テープ

メタバースによる入学式も実施

また、今回はインターネット上の仮想空間「メタバース」を利用した入学式を初めて実施。新入生延べ約500人がアバター（分身）姿で参加した。

メタバース入学式は、新入生を歓迎するオリエンテーションの一つとして母校の歴史や魅力を発信するもので、新入生らはスマホやパソコンからメタバース空間に参加。スーツ姿のアバターや、チャット機能を使ってコメント、拍手やハートの絵文字を送ったりして楽しんでいた。

メタバース入学式

記念写真を撮る新入生

七隈トピックス　NANAKUMA TOPICS

新体育寮（女子寮）が完成

福岡大学体育寮（女子寮）の落成式が 3 月 29 日にあった。母校の朔学長のあいさつ、有信会から川畑名誉理事長の来賓祝辞に続き、寮生代表の浜﨑萌衣さん（スポーツ科学部 1 年）がお礼のあいさつをした。体育寮（女子寮）は、女子アスリートのさらなる飛躍のために新たに建設されたもので、車椅子対応の部屋を含め計 60 室が用意されている。

応援団が有観客で演武会

福岡大学応援団の「第32回演武会・応援団と共に」が3月5日、母校有朋会館ホールであった。昨年9月18日に開催の予定だったが、台風14号の九州上陸の影響で延期されていた。第30、31回の演武会は無観客で実施。今回は久しぶりに有観客での開催が実現、団員たちも感無量の姿だった。三部構成で、「我らが福大」の応援歌、七隈とんび、福大節を披露。団員に大きな拍手が送られていた。

伝統の福西戦～朔学長が始球式

九州六大学野球春季リーグ戦、伝統の一戦「福西戦（応援合戦）」が 4 月 23 日、春日球場であった。「福西戦」には、例年、多くの在学生、卒業生、教職員が集い、当日は、300 人以上が伝統の一戦を盛り上げた。また、試合に先立って行われた始球式では、朔学長がユニフォーム姿でマウンドに上がり、始球式で豪快な投球を披露し観衆を沸かせた。試合は同点のまま延長 10 回タイブレークの末、惜しくも 7-8 で敗れた。

「社会保障のトリセツ」を紹介 法学部山下教授

母校法学部の山下慎一教授が、「社会保障のトリセツ」（弘文堂、税込 1,485 円）を出版。社会保障の仕組みが複雑化するなか、理解しやすい「トリセツ」として多くのメディアで紹介され話題を呼んでいる。内容は、年金、病気・けが、介護、失業・廃業、子どものことなど困りごとを分類。フローチャート図やイラスト付きで紹介し、社会保障制度をわかりやく解説。役所での手続きを支援する内容で「困った時は役所の窓口にこの本を持って行き、使える制度を探してほしい」と話す。

ブラックバイト対処法を解説 経済学部が新入生に配布

経済学部（渡邉淳一学部長）は、今年度の新入生（文系 2000 人対象）に対して「漫画でわかる！アルバイトはこうして選ぼう」を配布した。きっかけは同学部の木下敏之教授が学生のアルバイトについて調査、労働法の知識と社会経験の両方の不足から「ブラックバイト」に遭遇している実態をみて、新入生オリエンテーションの際に「バイトの選び方を説明する小冊子」として配布した。学生生活に必須のアルバイト。労働条件などをよく理解する上で学生に貴重な一冊となりそうだ。

メタバースで大学案内

母校では2023年度を「メタバース トライアル イヤー」と位置づけ、メタバース（仮想空間）を活用した企画などに取り組んでいる。福岡大学の正門からヘリオスの建物内までを再現した「メタバース空間」を作成。福岡大学の「今」の姿をオンライン上でリアルに体感でき、メタバース空間では、拍手ボタンやハートボタンを押したり、コメントを投稿したりすることで、コミュニケーションを図ることができる。現在、空間内で「第19回全国高校生川柳コンクール」のポスターや過去の入選作品の動画等を公開している。

学術文化祭開幕 4年ぶりに講演会

6 月 26 日から 7 月 2 日まで、学友会学術文化部会が主催する「第 62 回福岡大学学術文化祭」があった。今年の学術文のテーマは「Unique」で、「学術文化部会に所属する各部が持つ特殊性と専門性と個性を存分に発揮しよう」という思いが込められている。6 月 29 日には、落語家の月亭方正氏を招き、4年ぶりとなる講演会も開催され、満員の会場では大きな笑いに包まれた。

イングリッシュガーデンのバラが見頃

母校のバラ園（イングリッシュガーデン）が見頃を迎えた。例年 5 月の季節に満開となり、赤、白、黄色の色鮮やかな花々が多くの人を楽しませている。バラ園は母校創立75 周年に有信会が寄贈。母校本館と 7 号館に挟まれたスポットにあり、四季咲大輪系バラ 11 種類はじめ 392 株が植栽されている。

支部ヒストリー

若手・女性会員を増やした秘策とは？

広島支部長 佐藤一直さん（体育H10）

―広島から福大へ進んだ理由は？

福大を選んだのは、高校のサッカー部の監督が福大出身だったこと、母の実家も福岡でしたから、スポーツについて学びたいと考え、体育学部のある福大へ進学しました。大学でもサッカー部に所属し、多くの仲間と苦楽を共有しました。その仲間たちとは今でも生涯の親友としてつながっています。

―その若さで広島県議を16年も務められました

卒業後、新潟に本社がある運動器具メーカーに営業職として就職しました。会社の都合で広島支店へ転勤することになりますが、広島は出身地でもあり、縁あって地元国会議員の秘書として手伝うことになります。26歳で会社を辞め、議員秘書を6年やりました。

その後、広島県議選に出馬します。まだ30代でしたが「誰かやらなきゃいけないなら自分がやろう」という感じでしたね。なんとか当選して、4期16年間県政に携わりましたが、「多選はいけない」との持論から、今年で議員活動を終えることを決意しました。次の挑戦として、今住んでいる地域に「パン屋がない」という声があり、「じゃあ自分がやろう」と思い立ち、今は開業に向けてパン作りの修行中です（笑）。

佐藤広島支部長（平和記念公園で）

―広島支部で支部長になったきっかけは？

母校への愛情もあり、自然な流れで有信会に参加しました。先輩、後輩との垣根を越え、情報交換や人間形成の場として楽しんでいます。政治経済、医学、スポーツまで幅広い分野で意見交換でき、先輩たちの話が聞ける場として有意義な集まりだと感じました。さらに新卒者や若手へ参加を積極的に呼びかけました。そんなこともあり、支部長に推薦されましたが、「支部長」という感覚はなく、有信会の「営業部長」というところでしょうか（笑）。

―若手や女性会員を増やされました。秘訣はありますか？

支部総会に顔を出した当初、参加者は30人ほどでしたが、その後100人まで増やしました。秘訣というほどではないですが、まず体育学部の先輩や後輩、そして同世代や若手に声をかけました。また、女性参加も重要と考え、年齢問わず、同時に多くの方に声掛けして参加を増やすことで、女性会員の輪も広がりました。SNSも活用し、会費の工夫、参加者同士のケアにも努めたことでしょうか。

女性会員も多数参加

―支部創設40年ですね。コロナ後の支部活動は？

新型コロナウイルス感染が拡大し、支部活動にも大きな影響を受けました。この3年間は活動がまったくできませんでしたが、今年は通常の活動を予定しています。広島でも有信会は強い絆を持つ場所であり、多くの卒業生がいます。今年は支部創設40年の節目を迎え、さらに新しい風を吹き込んでいきたいと思います。

多くの卒業生が集う広島支部総会

支部だより　(2023年3月～7月開催分)

全国各地で職域支部、地域支部を開催

有信会は、「学部同窓会」のほか、東京から沖縄まで62の「地域支部」、36の「職域支部」があり、活発な同窓会活動を行っています。

東海支部50周年

名古屋から母校を応援　歴代の支部長に感謝状

東海支部（黒瀬久児夫支部長）は6月17日、支部創立50周年の記念総会・懇親会を名古屋市の名古屋ガーデンパレスで開催した。母校から小野寺副学長、有信会から村上理事、大阪支部、大濠同窓会東海支部の来賓を迎え、会員19人が参加し、東海支部半世紀の節目を祝った。

黒瀬支部長は「コロナもありましたが50周年を迎えることが出来ました」とあいさつ。小野寺副学長から母校の近況について報告があり、会員らは変貌する母校の様子に聞き入っていた。

総会では支部の活動報告、収支決算などの報告、役員の交代などを承認し、これまでの歴代支部長に感謝状を渡した。懇親会では、寮生生活など学生時代の思い出話しなど博多を懐かしむ声が聞かれた。最後に大阪から駆けつけた落語家の桂梅團治さんらを交え、円陣を組んで校歌を斉唱し閉会。黒瀬支部長は「歴代の支部長の尽力で50年を迎えた。駅伝やサッカーなどスポーツの福大に伝統もあり、母校の活躍を応援していきたい」と話していた。

浮羽支部第25回

4年ぶりの開催、現役落研部員が落語を披露

浮羽支部（平川和彦支部長）は6月10日、設立25回目の記念総会をOB権藤一光さん（商45）経営の筑後川温泉「桑之屋」で開催した。コロナ禍もあり、4年ぶりの開催となった。母校から森山副学長、有信会から石村理事長が出席、近隣の大牟田、八女・筑後、小郡・三井の各支部長、うきは市の権藤市議らを来賓に迎え、会員33人が参加した。来賓の森山副学長から母校の現況とメタバース（仮想空間）を使った入学式の実施など、会員は新しい母校の様子に興味深く聞き入っていた。

総会では活動報告、会計、監査報告、役員改選案の議案を承認し、懇親会場に場所を移し、永松八女・筑後支部長の発声で乾杯し祝宴に入った。余興では母校落語研究部の福々亭一宝さん（人文2年）と喜翔さん（理2年）が古典落語を披露、大きな拍手を受けていた。平川支部長は「25回目の節目を迎えたが、今回はコロナ禍で準備の時間が少なかった。今後は若手の会員を増やしていきたい」と今後の活動について抱負を話していた。

詳しくは有信会ホームページ・「各支部より」をご覧ください。　有信会　検索

詳しくは有信会ホームページ・「各支部より」をご覧ください。 有信会 検索

長門支部

5月12日、令和4年度の長門支部総会を3年ぶりに味の実 ざくろにて開催。有信会から石村理事長を来賓に迎え、過去にない多くの会員(27人)が集い、総勢28人で開催した。総会の前に故人への黙祷を行い議事に移り、活動・会計報告に続き、令和5年度活動方針も承認された。役員改選では、三輪支部長が再選、事務局長に高橋氏が選任された。懇親会では、久しぶりの再会を喜ぶ会員、初参加の会員、また3人の女性会員の参加で大いに盛り上がり、会員相互の親睦を深めた。最後に校歌斉唱、万歳三唱で締めくくり散会。令和5年度の支部総会は令和6年1月に開催する。

古賀支部

5月28日、福津市の正直亭で「令和5年度古賀支部総会」を開催。母校から小野寺副学長、有信会から石村理事長を来賓に迎え、会員20人が参加した。小野寺副学長からは、大きな飛躍を遂げる母校の現状を、石村理事長からは各地の有信会会員の活躍について話があった。総会議事も全て承認され、懇親会では、久しぶりに再会した会員の笑顔が輝き、会話は尽きることがなかった。支部設立15周年及び古賀市政20周年を記念し、6年前から古賀市内薬王寺水辺公園に河津桜の植樹を行っている。ステンレス銘板も設置の予定で、古賀支部の存在を大いにPRしたい。

糟屋支部

5月13日、令和5年度「第17回糟屋支部総会」を博多サンヒルズホテルにて開催。来賓として母校から森山副学長、有信会から川畑名誉理事長、石村理事長、古賀支部から平支部長を迎え、会員36人、総勢40人で開催した。来賓からの祝辞では母校の発展状況や有信会の事業再開について話をいただいた。総会議事は全て承認され、南里支部長が退任し、須恵町の母里支部長が新支部長に就任する。懇親会では30～80歳代まで、世代を超えて交流し親睦を深めた。最後に全員で校歌を斉唱し閉会した。

長崎支部

6月2日、「令和5年度長崎支部総会」をガーデンテラス長崎ホテル&リゾートにて開催。母校から渡邉経済学部長、有信会から村上理事、長濱理事を来賓に迎え、会員40人が集った。来賓からは、母校の一歩先の教育、情報技術の最先端の教育、地域貢献への取り組みなど、変わりゆく母校から目が離せない情報を聞いた。また有信会からも今年度から全ての事業が再開、各地での卒業生の活躍について話があった。議事も全て承認され、引き続き懇親会に入り、久しぶりの再会でもあり、参加者は和気あいあいの中、盛会のうちに総会を終えた。

北九州支部

5月19日、4年ぶりに令和5年度「第56回北九州支部総会」を、JR九州ステーションホテル小倉にて開催、母校から加留部副学長、有信会から川畑名誉理事長、石村理事長他18人の来賓と、123人の会員が集い盛大に催された。総会の議案は満場の拍手で全て承認。加留部副学長、石村理事長から祝辞があり、発展する母校の状況に胸が高鳴った。懇親会では、参加者同士で名刺交換等の交流が積極的に行われ、アトラクションでは「尺八・三味線演奏」と「マジックショー」、抽選会では全員に素晴らしい景品が当たり盛り上がった。最後に全員で輪になって校歌を斉唱、恒例の「小倉えびす締め」で閉会した。

佐賀支部

6月2日、4年ぶりの「令和5年度佐賀支部総会」を、ホテルニューオータニ佐賀にて開催。母校から朔学長、有信会から瀬尾副理事長を来賓に迎え、会員80人が参加した。来賓の朔学長から祝辞をいただき、映像を交え、母校の近況について詳しく話を聞いた。瀬尾副理事長からも有信会の現状報告をいただき、総会の議事も原案通り可決され懇親会へと移った。近況報告をしながら、久しぶりの再会を喜び、懇親を深める待ちわびた宴となった。記念品抽選会では、佐賀の海苔、地酒、バラのお酒、ニューオータニの食事券が当たる豪華抽選会で盛り上がり、最後に校歌斉唱、万歳三唱で閉会した。

支部だより　(2023年3月～7月開催分)

東京支部

6月3日、千代田区のプラザエフ（主婦会館）にて、「令和5年度東京支部総会」を開催。母校から朔学長、蓑輪キャリアセンター長、有信会から川畑名誉理事長らの来賓を招き、多くの会員が参加した。第一部の総会では議題の報告・審議・採決の結果、承認された。来賓挨拶では、母校の発展や有信会の現状などについて話しを聞いた。懇親会では、役員の紹介、委員会・同好会等の活動報告があり、新卒出席者4人、初参加者7人が紹介された。参加者は4年ぶりの対面での再会に名刺交換や近況報告など時間の許す限り交流を深めた。最後に全員で校歌を斉唱し、盛会裏のうちに閉会した。

奈良支部

6月17日、亀の井ホテル奈良にて、「令和5年度奈良支部総会」を開催。有信会から水原理事を来賓に迎え、会員15人が参加した。水原理事から有信会の事業再開、活躍する有信会会員についての話しをいただき、総会審議も提示内容通り承認され、無事に終えた。引き続き懇親会へと移り、美酒を味わいながら、お互いの近況報告など、親睦を大いに深めることができた。今後は、新型コロナ感染症の沈静化の兆しが見えつつある中、感染防止に配慮し支部活動の早期回復を図っていきたい。

伊万里有田支部

6月3日、ロイヤルチェスター伊万里にて、「令和5年度伊万里有田支部総会」を開催。昭和32年卒業生から平成8年卒業生までの35人と、母校から米沢スポーツ科学部長、有信会の松原理事を来賓に迎え、総勢37人が集った。母校の現状や創立100周年に向けた取り組み、有信会会員の活躍等についての話を聞き、参加会員の期待感も高まった。コロナ禍で4年ぶりの開催となり、再会を待ちわびていた多くの会員同士の親睦が図られ有意義な時間を過ごした。地道な声かけの成果で、女性3人の参加もあり、一層華やかな会となった。今後、開催、案内方法など工夫し、魅力ある会合にしていきたい。

諫早支部

7月7日、ホテルフラッグス諫早にて、4年ぶりの「令和5年度 諫早支部総会」を開催。母校から田中副学長、有信会から石橋理事を来賓に迎えた。また、長崎支部の猪俣副支部長、大村の小林克敏県議会議員にも出席いただき、会員42人が参加した。物故者への黙祷のあと、田中副学長より母校の現況紹介があり、その後議事に入り、令和4年度の事業報告、決算報告及び令和5年度事業計画、予算案が全て承認された。懇親会では、久しぶりに会員間での交流を楽しみ、景品が当たるくじ引きでは大変な賑わいを見せた。最後に万歳三唱をして閉会した。

山鹿支部

6月10日、横手会館にて、有信会から松原理事を来賓に迎え、会員16人が参加し「令和5年度山鹿支部総会」を開催した。4年ぶりの総会であったが、参加者が少なかったのが気がかりであった。懇親会では、久しぶりの再会を喜び、会話に花が咲き、大いに盛り上がった。総会での議題に上程された「八日会の充実」について、多方面からゲストを迎え、相互の懇親と学びを深め、総会の出席率に繋げていこうとの内容が可決された。来年の総会では会員の出席数を1人でも増やせるよう頑張りたい。

佐世保支部

7月7日、グランドファーストイン佐世保にて母校より小野寺副学長、有信会より水原理事、長崎支部より吉田清規様を来賓に迎え、会員37人の出席のもと、4年ぶりに開催した。村瀬支部長のあいさつ、活動報告、決算報告に続き、小野寺副学長より「母校の近況報告」を聞き、発展する母校の状況には目を見張るものがあり、在学時代の様相との違いに驚くばかりだった。懇親会に移り和気あいあいとした雰囲気の中で懇親を深めた。七夕ということもあり、冨田副支部長より色鮮やかな金平糖の差し入れがあり会員の目を楽しませた。校歌を高らかに斉唱、万歳三唱にて閉会した。コロナ後は1人でも多くの会員が参加してもらえるよう、支部活動を活性化させていきたい。

令和４年度　事 業 報 告

一般社団法人福岡大学同窓会有信会は、昭和12年3月に福岡大学の前身福岡高等商業学校第一回生の卒業と同時に発足し、名称を「友信会」とした。昭和27年5月25日に「有信会」に名称変更し、文部省（現文部科学省）の許可を得て昭和30年2月1日社団法人有信会として発足し、公益法人制度改革三法の施行により、内閣総理大臣の認可を得て平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）に名称変更した。

本年度は、同窓会発足から85年目、社団法人発足から67年目、一般社団法人移行から9年目を迎えた。

令和4年度は、「新型コロナウイルス感染症」の新規感染者数が急激に増える「感染の波」が繰り返され、令和4年1月に第6波が襲来し、7月からは第7波が、11月からは第8波が襲来した。また、その「感染の波」は、主に変異ウイルスへの置き換わりが原因となっており、「アルファ株」から「デルタ株」へ、「デルタ株」から「オミクロン株」に置き換わった。

有信会の事業としては、年度を通して感染症拡大の防止及び感染リスクの減少のため、大人数を集めての事業を中止した。しかし、コロナ禍の中で必要な母校等への支援や各種会議・会合の開催、広報活動等は行った。

1　母校への支援

母校及び在学生への支援を行った。

⑴**母校及び在学生への経済的支援等**　令和4年11月初旬に予定していた、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」は、コロナへの感染が払拭できないことから中止した。
コロナ禍の中で、母校へ次の支援を行った。
・福岡大学のブランド向上を図るため、「教育・研究・医療・スポーツを通し、社会に貢献する」「躍進する福岡大学」等を題材とした新聞広告への援助費として70万円を支援した。

⑵**在学生との懇談会の中止**　在学生の人材育成の取組みとして、産業界などで指導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場となる「在学生との懇談会」を同年5月11日（水）に予定していたが中止した。

⑶**有信会奨学基金の奨学生採用**　有信会が、一般社団法人に移行する際に母校に贈った特定寄付金を原資とした「有信会奨学基金」（貸与型）の奨学生に、山口雄大さん（法学部4年）、徳間瑞季さん（法学部4年）及び内田大貴さん（理学部4年）が採用された。同年7月7日に文系センター15階会議室にて奨学生採用式が行われ、川畑懿子名誉理事長、石村國芳理事長が列席した。

⑷**褒賞金の贈呈**　第35回世界バトントワーリング選手権大会で3位入賞した松尾安珠さん（商学部1年）と第61回全日本学生なぎなた選手権大会で女子団体として24年ぶり2回目の優勝を飾ったなぎなた部に褒賞金を贈呈した。

⑸**世界陸上競技選手権出場を祝う横断幕及び懸垂幕の製作等援助**　同年7月15日から開催された世界陸上競技選手権に、男子走高跳の真野友博さん（工H31）、混合4×400ｍリレーの久保山晴菜さん（スポH31）、女子やり投げの上田百寧さん（スポR4）及び女子4×400ｍリレーの兒玉芽生さん（人文R4）の出場を祝うため、母校に掲示する横断幕及び懸垂幕の製作等への援助費として44万7千円余を支援した。

⑹**就職支援ガイダンス等**　在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校キャリアセンターの活動等に協力した。

2　公益活動の推進

地域社会との連携を深め、また、地域福祉を含めた公益活動を中止した。

⑴**講演会の中止**　令和4年6月25日（土）の会員大会当日に予定していた、一般市民も参加可能な「公開講演会」を中止した。

⑵**社会福祉活動の中止**　有信ゴルフ会は、秋季にチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金を福祉施設等に寄贈する予定であったが、ゴルフ大会を中止した。

3　事業活動の充実と会員相互の親睦強化

⑴**会員大会の中止**　令和4年6月25日（土）に予定していた、「会員大会」を中止した。

⑵**レディーズクラブのつどいの中止**　同年11月12日（土）に予定していた、「レディーズクラブのつどい」を中止した。

⑶**新年賀詞交換会の中止**　令和5年1月18日（水）に予定していた、「新年賀詞交換会」を中止した。

⑷**有信八日会の中止**　会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で開催している「有信八日会」を中止した。
通常例会は、7回（4月、7月、9月、10月、11月、2月及び3月）、8月大交流会及び12月忘年八日会と併せて年間9回のすべてを中止とした。

4　各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。

⑴**理事会**　第1回（令和4年4月）、第３回（同年7月）、第４回（同年12月）及び第5回（令和5年2月）理事会は、福岡県内の感染者数が減少していたことから、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手の消毒」をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催した。
第2回（同年6月）の理事会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため開催を中止した。開催中止に伴い、全理事に対し書面による議題の同意を依頼し、決議された。
なお、理事会では関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努めた。

⑵**定時代議員総会**　令和4年6月25日（土）に予定していたが、開催を中止した。開催中止に伴い、全代議員に対し書面による議題（令和3年度事業報告の承認及び令和3年度決算の承認）の同意を依頼し、決議された。

⑶**地域・職域支部長会**　同年6月25日（土）の会員大会同日に予定していた、「地域・職域支部長会」を中止した。

⑷**各委員会**　有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催した。

⑸**母校福岡大学との連絡会議の中止**　母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行っているが、同年12月8日（木）に予定していた、大学役職者と有信会役職者との連絡協議会を中止した。

5　広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。

⑴**広報紙「有信」**　162号（8月発行分）は、終身会費未納（一部未納を含む。）の会員にも発送。

発行年月	号　数	様　式	ページ数	印刷部数
令和4年8月	162号	全頁カラー	16	161,000
令和5年3月	163号	全頁カラー	16	98,500

⑵**ホームページ**　平成31年4月にリニューアルしたホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努めた。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努めた。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しのための検討を行い改善した。

6　組織の活性化

有信会を支える地域支部62、職域支部36、各学部同窓会、学年別同窓会及び学友会ＯＢ会が、各々の趣向で支部総会等を通して絆を深めているが、令和4年度は東京支部をはじめ13支部で総会が開催されたが、その他は支部総会等が中止となった。

7　会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員の住所データや近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査に支障をきたすケースも増大している。
広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査をしているが、判明率は芳しくない。会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8　財政基盤の強化

⑴**終身会費徴収の徹底**　終身会費未納の卒業生に対し、令和4年8月発行の広報紙「有信」第162号に会費納入依頼書を同封し、終身会費の納付を依頼した。

⑵**経費節減の努力**　会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールやFAX等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

◆有信会の主なスケジュール◆

月日	予定行事
9/23	工学部(土木･社デ)「福陽会」同窓会総会
30	大分支部総会
〃	前期卒業式
10/6	第86回有信チャリティーゴルフ大会
14	鳥取西部支部総会
〃	山口支部総会
〃	宮崎県支部総会
〃	沖縄支部総会
20	直鞍支部総会
21	鹿児島支部総会
上~下	神戸支部総会
〃	商学部第二部同窓会総会
11/3	ホームカミングデー
〃	法学部同窓会総会
〃	工学部(機械)「福機会」同窓会総会
7	熊本支部総会
11	日田支部総会
17	下関支部総会
18	大阪支部総会
25	岩国支部総会（40周年）
〃	香川県支部総会
上~下	八女筑後支部総会
〃	広島支部総会（40周年）
中	島根東部支部総会
〃	愛媛県支部総会（30周年）
12/7	第５回理事会･大学との連絡協議会
9	天草支部総会
上	岡山支部総会
1/24	新年賀詞交換会
上~下	長門支部総会
2/上	第６回理事会
16	飯塚支部総会（80周年）
上	添田支部総会
〃	遠賀信用金庫支部総会
〃	大分市役所支部総会
3/19	大学卒業式

［注］上中下は上旬、中旬、下旬

※新型コロナウイルス感染症の状況によりスケジュール等の変更があります。

令和４年度　貸　借　対　照　表

（令和５年３月31日現在）

（単位：円）

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	291,076,982	263,573,333	27,503,649
預り金預金	103,702	100,556	3,146
流動資産合計	291,180,684	263,673,889	27,506,795
２．固定資産			
(1)　基本財産			
基本金資産	300,000	300,000	0
基本財産合計	300,000	300,000	0
(2)　特定資産			
退職給付引当資産	7,534,000	6,619,000	915,000
特定資産合計	7,534,000	6,619,000	915,000
(3)　その他固定資産			
事業積立金Ⅰ	370,000,000	340,000,000	30,000,000
什器備品	930,683	907,789	22,894
その他固定資産合計	370,930,683	340,907,789	30,022,894
固定資産合計	378,764,683	347,826,789	30,937,894
資産合計	669,945,367	611,500,678	58,444,689
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
前受会費	98,857,500	101,505,000	△2,647,500
未払金	6,523,489	6,300,754	222,735
預り金	103,702	100,556	3,146
流動負債合計	105,484,691	107,906,310	△2,421,619
２．固定負債			
前受会費	98,310,000	98,572,500	△262,500
退職給付引当金	7,534,000	6,619,000	915,000
固定負債合計	105,844,000	105,191,500	652,500
負債合計	211,328,691	213,097,810	△1,769,119
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	300,000	300,000	0
(うち基本財産への充当額)	(300,000)	(300,000)	(0)
２．一般正味財産	458,316,676	398,102,868	60,213,808
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(7,534,000)	(6,619,000)	(915,000)
正味財産合計	458,616,676	398,402,868	60,213,808
負債及び正味財産合計	669,945,367	611,500,678	58,444,689

令和４年度　正味財産増減計算書

（令和４年４月１日から令和５年３月31日まで）

（単位：円）

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1)　経常収益			
財産運用収益	48,368	39,916	8,452
受取会費収益	138,988,300	145,465,000	△6,476,700
受取会費収益(1)	(134,355,000)	(135,795,000)	(△1,440,000)
受取会費収益(2)	(4,633,300)	(9,670,000)	(△5,036,700)
受取負担金収益	0	0	0
有信共益事業収益	0	0	0
有信八日会収益	(0)	(0)	(0)
有信ゴルフ会収益	(0)	(0)	(0)
雑収益	0	0	0
経常収益計	139,036,668	145,504,916	△6,468,248
(2)　経常費用			
事業費	46,967,709	50,614,324	△3,646,615
母校援助費	11,230,640	19,105,200	△7,874,560
広報誌発行費	27,314,620	26,746,928	567,692
ＩＴ事業費	2,059,390	2,033,496	25,894
会員大会費	1,015,259	1,015,259	0
レディーズクラブ総会費	220,000	220,000	0
講演会費	0	0	0
新年賀詞交換会費	0	0	0
支部援助費	5,127,800	1,493,441	3,634,359
有信共益事業費	0	0	0
有信八日会支出	(0)	(0)	(0)
有信ゴルフ会支出	(0)	(0)	(0)
管理費	31,855,150	28,772,500	3,082,650
給料手当費	14,663,000	14,173,642	489,358
福利厚生費	2,330,700	2,426,669	△95,969
会議費	4,212,590	2,073,761	2,138,829
旅費交通費	1,187,620	1,123,040	64,580
通信運搬費	1,390,104	1,166,676	223,428
消耗品費	428,938	936,345	△507,407
印刷製本費	2,102,504	1,935,844	166,660
賃借料費	862,466	861,632	834
光熱費	224,662	217,294	7,368
支払手数料費	137,484	183,856	△46,372
公租公課	57,986	56,092	1,894
雑費	3,090,871	2,466,059	624,812
退職給付費用	915,000	950,000	△35,000
減価償却費	251,225	201,590	49,635
経常費用計	78,822,859	79,386,824	△563,965
当期経常増減額	60,213,809	66,118,092	△5,904,283
２．経常外増減の部			
(1)　経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)　経常外費用	0	0	0
什器備品除却損	1	8	△7
経常外費用計	1	8	△7
当期経常外増減額	△1	△8	7
当期一般正味財産増減額	60,213,808	66,118,084	△5,904,276
一般正味財産期首残高	398,102,868	331,984,784	66,118,084
一般正味財産期末残高	458,316,676	398,102,868	60,213,808
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000	300,000	0
指定正味財産期末残高	300,000	300,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	458,616,676	398,402,868	60,213,808

令和４年度　収　支　計　算　書

令和４年４月１日から令和５年３月31日まで

（単位：円）

科　目	予算額	決算額
Ⅰ　事業活動収支の部		
１　事業活動収入		
①　財産運用収入		
財産運用収入	51,000	48,368
②　会費収入		
会費収入(1)	133,920,000	134,355,000
会費収入(2)	3,700,000	4,633,300
③　負担金収入	2,870,000	0
④　有信共益事業収入		
有信八日会収入	3,700,000	0
有信ゴルフ会収入	1,950,000	0
⑤　雑収入	1,000	0
事業活動収入計	146,192,000	139,036,668
２　事業活動支出		
①　事業費支出		
母校援助費支出	30,100,000	11,230,640
広報紙発行費支出	29,850,000	27,314,620
ＩＴ事業費支出	4,300,000	2,059,390
会員大会費支出	6,730,000	1,015,259
レディーズクラブ総会支出	1,815,000	220,000
講演会費支出	2,146,000	0
新年賀詞交換会支出	2,273,000	0
支部援助費支出	17,310,000	5,127,800
有信共益事業支出		
有信八日会支出	3,700,000	0
有信ゴルフ会支出	1,950,000	0
事業費支出計	100,174,000	46,967,709
②　管理費支出		
給料手当支出	15,640,000	14,663,000
福利厚生費支出	2,390,000	2,330,700
退職金支出	0	0
会議費支出	4,250,000	4,212,590
旅費交通費支出	3,825,000	1,187,620
通信運搬費支出	1,770,000	1,390,104
消耗品費支出	860,000	428,938
印刷製本費支出	2,580,000	2,102,504
賃借料支出	900,000	862,466
光熱費支出	200,000	224,662
支払手数料支出	250,000	137,484
公租公課	70,000	57,986
雑費支出	4,310,000	3,090,871
管理費支出計	37,045,000	30,688,925
事業活動支出計	137,219,000	77,656,634
事業活動収支差額	8,973,000	61,380,034
Ⅱ　投資活動収支の部		
１　投資活動収入		
①　退職給付引当預金取崩収入	0	0
投資活動収入 計	0	0
２　投資活動支出		
①　特定資産引当資産支出		
退職給付引当預金支出	915,000	915,000
②　固定資産取得支出		
事業積立金Ⅰ繰入支出	30,000,000	30,000,000
什器備品取得支出	500,000	274,120
投資活動支出計	31,415,000	31,189,120
投資活動収支差額	△31,415,000	△31,189,120
Ⅲ　財務活動収支の部		
１　その他の収入		
前受会費収入	96,502,500	98,595,000
その他の収入計	96,502,500	98,595,000
２　収入調整勘定支出		
前受会費調整支出	101,505,000	101,505,000
収入調整勘定支出計	101,505,000	101,505,000
財務活動収支差額	△5,002,500	△2,910,000
Ⅳ　予備費支出	3,000,000	0
当期収支差額	△30,444,500	27,280,914
前期繰越収支差額	261,902,000	257,272,579
次期繰越収支差額	231,457,500	284,553,493

OBOG探訪

地下鉄七隈線が博多まで延伸
～母校ますます近く便利に！

福大前から博多まで20分に――3月27日、地下鉄七隈線が博多駅まで延伸開業した。博多駅から直通でわずか20分で母校まで行けることになり、2005(平成17)年に開業し、天神から母校まで16分と便利となったが、延伸し福岡空港からも乗り換えで30分ほどに。一方地下鉄開業に伴い、バス停「福大前」の利用者は激減した。

当時バスでの通学を経験した世代には少し寂しいが、県外からでも母校がより身近で便利になったことには間違いなく、11月に行われるホームカミングデーなど、ぜひ母校を訪れてはどうだろうか。

多くの学生が利用（福大前駅）

博多から20分

目を引く母校のデジタルサイネージ
～デザインは経済学部卒の徳留さん

また、話題となっているのが母校の広告デジタルサイネージ（電子看板）だ。福大の「F」をモチーフとした、男女の躍動する姿が洗練された広告として地下鉄やバス停などに掲示されている。

この広告をデザインしたのは株式会社ワオットの徳留慶志郎さんで母校経済学部出身。2000年に卒業後、広告デザインの職業に興味を持ち27歳でデザイン事務所に所属、グラフィックデザインからweb、動画、企業のブランディングを手がける。

今回のデザインについて、「福大のイニシャル「F（エフ）」の中に、2万人のキャンパスで磨かれる「IDENTITY（アイデンティティー）の「I（アイ）」を融合させた学生のイメージと共に大胆にデザインしました。母校のPRをお手伝いできて感激です」と話している。

博多駅構内のデジタルサイネージ

国立和歌山大学学長に母校卒業生
本山貢さん（体育59）が就任
有信会を表敬訪問

国立大学法人和歌山大学の学長に母校卒業生の本山貢さん（体育59）が就任。5月8日、母校を訪れ、有信会事務局を表敬訪問した。母校出身で大学学長は朔学長に続き2人目の快挙。石村理事長、川畑名誉理事長がお祝いの花束を贈り、学生時代の思い出や和歌山大学の話などを聞いた。

母校卒業後、和歌山大学教育学部の講師、教育学部長や評議員などを務め、今年4月に学長に就任。「学長として母校に訪れるとは夢にも思いませんでした。九州と近畿という離れた場所にありますが、今日をきっかけに色々と交流できればと思っています」と話していた。

学長に就任した本山さん

有信会事務局を訪れた本山さん

お悔やみ申し上げます

福岡大学関係

- 元副学長（名誉教授）（工学部）　宮本 徳夫（85歳）　令和5年4月 3日逝去
- 名誉教授（スポーツ科学部）　大谷 善博（87歳）　令和5年4月 3日逝去
- 名誉教授（人文学部）　稲元　萌（91歳）　令和5年4月26日逝去
- 名誉教授（人文学部）　三嶋　譲（82歳）　令和5年5月18日逝去
- 元助教（併任講師）（有信会理学部代議員）　村田 義夫（72歳）　令和5年6月 4日逝去
- 名誉教授（経済学部）　峯田 昌芳（81歳）　令和5年7月28日逝去

有信会関係

- 法学部代議員　上村 俊夫（68歳）　令和5年3月 3日逝去
- 経済学部代議員　足立　隆（69歳）　令和5年5月21日逝去

有信会員の皆様へ

会員の皆様へお知らせ

ご住所、連絡先の変更は事務局へご一報を！

氏名・住所・勤務先・電話番号等を変更された場合、お手数ですが事務局までご連絡していただくか、スマートフォン、PCから有信会ホームページ（**有信会**＝検索）へアクセスして入力してください。